たちばな

川崎市立橘高等学校同窓会
会報「たちばな」第18号
令和元年9月1日　発行
〒211-0012
川崎市中原区中丸子562
FAX　０４４-４２２-７４１２
web　tachibana-hs.net

陸上部・バレー部インターハイ出場！

二〇一九年　陸上部　**男女ともインターハイ出場！**
神奈川県大会では男女優勝、南関東大会では男子総合5位、女子総合4位の好成績。インターハイでも男子個人一五〇〇㍍で好成績！
二〇一九年　バレーボール部
男女関東大会出場！
男子インターハイ出場！

「平成」から「令和」へ若い世代の参加を！

同窓会長　牧野重夫

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

二〇一九年度代議員会にてご承認いただき、第五代同窓会長の大役をお引き受けすることになりました昭和41年18期卒の牧野重夫です。

同窓会事務局や副会長として17年間務めさせていただいた経験を活かし、同窓会運営に取組み、会報の発行やホームページ・Ｆａｃｅｂｏｏｋなど会員相互のコミュニケーションをより図ります。

平成31年3月現在、会員は2万3千名を超え、各界でご活躍の同窓生が多数おられます。

諸先輩のご尽力・ご苦労により築いてこられた伝統ある橘高校同窓会をさらに発展するよう頑張る所存です。

会報「たちばな」18号が出来ました。

同窓会活動の状況や会員皆様の動向等を掲載しています。なお、ＷＥＢでの情報提供も充実してまいります。ご意見、ご要望をお願いいたします。

平成30年度はバレーボール部、陸上部、ソフトテニス部がインターハイ、関東大会出場、また、定時制の活躍は目覚ましく、陸上部、卓球部、バドミントン部、バレーボール部、野球部が全国大会に出場しています。

文武両道、進学高としても名実ともに素晴らしい学校になっています。“橘に入って、また入れてよかった、卒業して本当に良かった”という声を多数聞いております。

文化祭（全日・定時制）では「同窓会コーナー」を開設し、同窓会活動状況等をＰＲしています。「卒業アルバム」の展示も好評のようです。是非、ご来場いただければ思います。

これからも学校行事との連携、協力を推進いたします。

皆様方からの会費は会報の発行や母校の後援等、同窓会活動の運営にかかせないものです。会費納入にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、同窓会の目的である、母校の発展、会員相互と在校生との親睦を図り、同窓会活動を活性化するため、同窓会事務局では人材を募っています。若い世代の同窓生にご参加いただければ思っています。

「平成」から「令和」新しい時代に向け「橘高校同窓会」のさらなる発展には各年代の会員のご理解が必要です。

そのためにも会員皆様の一層のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

新時代に輝く橘高校へ

川崎市立橘高等学校
学校長
同窓会名誉顧問
吉田　宏

同窓会の皆様には、日頃より温かいご支援・ご鞭撻をいただき、誠にありがとうございます。

前任の小平智足校長先生のご退任を受け、平成30年４月より本校校長に着任いたしました吉田です。私は、平成５年から平成16年まで本校全日制・定時制で、理科の教員として教壇にたたせていただきました。また、平成28年からの２年間は、本校定時制の教頭として勤めさせていただいており、橘高校とはたいへん縁の深い教員生活を送ってきました。昨年度より、校長として橘高校のために仕事ができることを大変うれしく思っています。

さて、今年度も４月８日に入学式が行われ、全日制二百七十三名・定時制二百六十六名の生徒が入学し、新年度がスタートしました。また、それに先立ち、３月２日には平成30年度卒業式が行われ、全日制二百七十三名・定時制三十八名の生徒が本校を巣立っていきました。新たに同窓会会員になりました三百十一人の卒業生をどうぞよろしくお願いいたします。（卒業生の総数は二万三千三百六十九人となりました。）

本校は平成13年に国際科・スポーツ科を新設し、普通科を加えた３学科の体制となってから18年が過ぎようとしています。ご承知のとおり、近年は益々生徒活動（特に部活動）が盛り上がっており、その活動の様子は頼もしい限りです。また、進路実績も年々成果を上げてきました。

来年度から実施される大学入試改革、そして令和４年度から実施される新学習指導要領完全実施、また教職員の働き方改革等の課題も、橘高校の教育が大きく姿を変えようとしています。今後予想される変化の激しい時代の中で、橘高校の教育がその輝きを失うことなく、いつまでも市民に求められる高等学校であるよう努力していく所存です。

同窓会の皆様には、温かくご見守っていただくと共に、同窓会のさらなる発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

退職のご挨拶

川崎市立橘高等学校
前学校長
同窓会特別顧問
小平智足

同窓会員の皆様方におかれましては、日頃より母校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、私儀　平成13年に橘高校に赴任し、定時制も含めて14年間橘に勤務し、平成30年３月に定年退職致しました。

特に、校長としての三年間を無事に過ごせましたことは、ひとえに皆様のおかげと感謝しております。

この間、名誉会長の桑原正様、長谷川幸夫様、前会長鈴木正則様、現会長牧野重夫様、橘基金の水嶋康雅様をはじめ役員の方々には、大変お世話になりました。

ありがとうございました。

在任中、印象深かったことをいくつか挙げると、陸上部の金井選手が110ｍＨでアジア大会とインターハイの両方で優勝したことや、卒業生の島村春世選手が、リオ五輪女子バレーボール代表となり、生徒会主催のパブリックビューイングで応援したときの感動。また、吹奏楽部が、第９回台湾国際音楽祭へ日本で唯一招待され、現地で単独演奏会を開催、好評を博したことなどです。いずれも、橘高校が世界に伍して活躍できるレベルにまで成熟したことを感じる出来事でした。

また、平成28年秋に、「みんなの高校情報」というサイトで、橘が神奈川県下の公私立学校の評判で第一位を獲った時は、うれしく思ったのを覚えています。これも、同窓会をはじめ皆さま方のご支援と感謝いたします。

退職後は、こども文化センター館長となり、小さい子を相手に苦戦しておりますが、今後も橘高を影ながら応援してまいります。会員の皆様には、変わらぬご厚誼とご支援をどうかよろしくお願いいたします。

同窓会の発展を祈念しつつ、退任の挨拶に代えさせていただきます。

母校動静　教職員紹介

二〇一八年度

全日制

着任

吉田宏（校長）橘定
小久保仁美（国語）幸
兼山貴之（国語）総科定
大野勝弘（社会）西高津中
中島美和（養護）橘定

異動

小平智足（校長）退職
宇都景子（英語）総合科学
坪松宏志（英語）幸
本田嘉代子（国語）幸
布山明（社会）高津定
保田晃範（国語）高津定

定時制

着任

関根泰三（教頭）高津定
上原直子（理科）総合科学
大石敦史（保体）野川
鈴木稜典（理科）高津
武石亜理（国語）橘

異動

中山敬也（理科）退職
栗原光男（保体）総合科学
二木貞彦（理科）退職
浅岡健司（国語）総合科学
山上辰朗（国語）県生田
中島美和（養護）橘

二〇一九年度

全日制

着任

関根泰三（副校長）橘定
五十嵐章浩（教頭）橘
伏見昌子（英語）総合科学
川渕佐知子（芸術）幸
冨塚博志（数学）川崎
斉藤和弘（社会）総合科学
羽田梨花子（理科）
長谷川剛士（芸術）総合科学
張あかり（英語）
原由美（事務）高津

異動

浅沼宏（副校長）退職
稲村晃嗣（教頭）退職
田中一（社会）退職
上地進一郎（英語）川崎
熱方昭二（理科）川崎
森下靖子（国語）総合科学
村中秀立（芸術）総合科学
里一孝（数学）高津
島本春弥（芸術）高津
竹本晶代（事務）
中原図書館

定時制

着任

百瀬実（教頭）センター
松原謙二（国語）高津定
島貫敬太（理科）川崎
江田良将（事務）

異動

関根泰三（教頭）橘
松原成行（数学）退職
古屋喜士（理科）退職
小坂哲朗（事務）

教育委員会

※敬称略、定の表記がない場合は原則として全日制。

平成30年度　全日制卒業生進路

	普通科	国際科	スポーツ科	全科合計	割合%
四年制大学	125	28	29	182	67
専門職大学	0	1	0	1	0.4
短期大学	10	0	2	12	4.4
専門学校	27	2	7	36	13
民間企業	0	1	1	2	0.7
公務員	0	0	0	0	0
留学	0	0	0	0	0
その他	34	6	0	40	15
卒業生総数	196	38	39	273	100

部活動の活躍

書道部

古典の臨書は勿論ですが、依頼された行事のテーマ大作書に筆を奮い、パフォーマンス好きな書道ガールズ総勢20名で楽しく活動しています。

文化祭では、吹奏楽部とのコラボレーション・パフォーマンス書道を実演いたします。

吹奏楽部

東関東大会出場決定！

夏休みの吹奏楽コンクールでは、本当に多くの方に声援を頂きありがとうございました。

総勢83名で活動をしております。今年度は「醒波」をスローガンに掲げ、全国大会に向けて日々練習しています。

指導の先生方に頼るだけでなく、技術向上のため生徒同士の学生合奏も活発に行っており、先ずは、文化祭で成長できた姿をお見せしたいと思います。

三年生と共に合奏できる最後の舞台をご覧いただきたく、是非お待ちしています。

ソフトテニス部

成績

二〇一八年

女子

インターハイ（団体・個人）出場、関東大会（団体）出場（個人第5位）、ハイスクールジャパンカップ出場、国民体育大会神奈川代表チーム1名選抜。

二〇一九年

関東大会（個人）出場、国民体育大会神奈川代表チームに1名選抜。

昨年度、念願の団体戦でのインターハイ出場を果たし、今までの多くの先輩方の想いを形に出来た一年でした。

しかし、本年度は個人戦での関東大会の出場のみにとどまり、関東大会（団体戦）やインターハイの出場を逃し、今までの先輩達の結果に及ばず悔しい思いをしました。

良いときも悪いときも話し合いを重ね、多くの人から応援される部活を目指し、色々な場面で工夫をしながら前に進んでいきたいと思います。

（顧問　塚野剛史）

野球部

夏の大会におきましては多大なる応援を頂き、ありがとうございました。

今大会では四回戦まで勝ち進むことが出来ましたが、昨年同様にベスト16の壁に阻まれてしまいました。

これからも強い意志をもって精進し続けたいと思います。

（顧問　田中健次）

伝統の定時制

新入生を迎えて

晴天の4月8日（月）、新入生26名を迎えてマルチホールで平成最後の入学式が挙行された。保護者の方も多数出席され、来賓代表の挨拶では伝統ある橘高校同窓会より、夢に向かって一歩ずつ、勉学に部活動に励んでくださいと祝辞を頂いた。

一年生は今、スポーツ大会、春季考査とクラスの仲間と親しくなり、学校生活を送っています。

（田上稔先生）

進路説明会

春季考査が終了して、5月31日（金）に定時制進路説明会が開かれました。

第Ⅰ部の講演は、1～3年生がマルチホールで一般的な進路の話を聞いていたのに対して4年、3年卒業予定者は進学と就職に別れ、実践的な講座を受けました。

第Ⅱ部は、それぞれ希望の分野に分かれて、各講座に参加しました。どの生徒も熱心に取り組むことができました。

校内弁論大会

さる6月19日（水）に校内弁論大会が実施された。各クラスから代表で1名の弁士が選出され、それぞれが立派な弁論を披露してくれました。

【結果】

優勝

「声をかける大切さ」

1年A組　澤村亜蓮

準優勝

「爪を怪我したけどなのに」

4年A組　野村昇吾

第三位

「明日を生きる活力」

3年A組　中久保玲楽

※尚、上位2名の生徒は、9月11日（水）にすくらむ21（川崎市男女共同参画センター）で実施される市内弁論大会に学校代表として出場いたします。

卒業生の進路

平成30年度の卒業生38名中、就職したのは18名、進学した生徒は14名、その他は6名でした。

・主な就職先

マルハニチロ物流サービス関東、社会福祉法人春日会、マルエツフレッシュフーズ、吉田園、和幸商事、リジョイスカンパニー、デイリートップ東日本、神奈川車両サービス、白洋舎、コーワン㈱、津田製作所、菊池組、牧井ステンレス、新原塗装、ヤマト運輸

・主な進学先

東海大学、高千穂大学、東洋学園大学、多摩大学、国士舘大学、日産自動車大学校、日本工学院専門学校、新東京歯科衛生士学校、横浜歯科医療専門学校、横浜こども専門学校、横浜市立商業高校別科、県立東部職業訓練校

可能性にチャレンジ　大原はじめ

私は現在32歳の高校三年生でありプロレスリング・ノアのプロレスラー大原はじめです。

なぜ私が30歳を過ぎて定時制高校に通ったのか?それは祖父母の介護がきっかけでした。

TVの中の話と思っていた介護、高齢化社会、まさか自分自身が体験するとは思っていませんでした。介護を通じて認知症の辛さや老後の人生など様々な事を考えさせられました。祖父が自転車で転倒し骨折して寝たきりになり認知症になり介護が始まりました。

祖父のように転倒して骨折して寝たきりになる高齢者の人を減らしたいなと思い自分にも何か出来ないか?と考えました。

自分はプロレスラー!体力作り、筋肉作りなら自信があるのでそれを高齢者の方に教えようと川崎市社会福祉施設でボランティアの体操教室を始めました。良い反響を頂きタウンニュースや市政だよりでも紹介されました。もっと知識をつけて良い教室にしたいなと考え資格などを取ろうかと調べたら条件が高校卒業というのがほとんどでした。

中学卒業後に調理の専門学校に行った自分は条件面でスタートラインにすら立てない事を感じました。厳しい現実に直面しました。

思い返せばプロレスラーになりたいという夢を持った中学2年の時、あまりに現実味のない夢にほとんど相手にされませんでした。身体も大きくない、運動神経もルックスも良くない、そんな自分への評価としては当たり前でした。しかし、父が高田延彦さんの道場に通わせてくれたのがきっかけで自分は努力できる場を得て必死に夢に向かって努力できました。

18歳でプロの団体に入門、19歳でメキシコでデビューしました。厳しいトレーニングを積み諦めないでデビューまでしましたがまだまだ新人、デビューしてもご飯を食べていけるだけの稼ぎは貰えない大変厳しい世界でした。

なかなか勝てないしお金もないし、家族友人もいない異国の地…しかしどん底でも諦めず頑張っていれば何かしら前進があるものである日、観衆1万5千人、TV放送はメキシコだけでなくアメリカでも放送、ギャラは普段の100倍くらいの額の大きな団体のメイン会場での試合に出れたのです。人生が大きく変わりました。

21歳で世界ウェルター級のチャンピオンになりアメリカ、イタリア、スペイン、フィンランド、韓国、北朝鮮、日本と数々の国、世界で試合をしてきました。こんな経験をしてきた自分なのでプロレスラーをしながら高校生をやるなんて無理にも思えましたが挑戦しようと思えました。

リング内外の生き様を見せるのがプロレスラー。どんな高い壁も強い相手でも諦めない心で闘う。失敗もある、敗戦もある。諦めなければ夢が適う事を自分が示していきます。身体が大きくなくてもプロレスラーになりチャンピオンになりました。

中学からまともに勉強してない30代ですが高校でテストで100点とれました。挑戦することの大切さ可能性にチャレンジする事の大切さを感じます。自分は30代で中卒から大卒も目指してみたいと思います。

そしてまたチャンピオンになってプロレス界も盛り上げたいです。そんな夢を持つ大原はじめの高校の成績表は体育が4で他は5です（笑）。

さぁあなたも可能性にチャレンジしてムイビエン！！

野球部

平成最後の昨年の夏は、劇的な形で橘定野球部に新たな歴史を刻むことができました。県大会決勝戦、7回の表が終わった時点で4対9と5点を追う状況でした。簡単に追いつける点差ではありませんでしたが、部員一人ひとりの次に繋げる気もちと、前に続こうという姿勢が流れをつかみ、7回裏に4点、最終回に2点を奪って逆転サヨナラ勝利で悲願の初優勝を果たしました。最後まであきらめない強い気もちで戦い抜いて「全国大会出場」を決めた部員の姿は、スタンドで観戦してくださっていた家族をはじめ、多くの方々に大きな感動を残してくれました。この決勝戦は再結成から101試合目でした。目標にしていた「全国大会出場」までに100試合の戦いがありました。小規模校のため毎年部員もぎりぎりで、9人で練習できないこともありますが、OB、OGが常に野球部を支え続けてくれました。力を合わせて続けること、地道に積み重ねることが大きな実を結ぶことをあらためて実感しています。全国大会では初戦を突破することもできました。令和元年の県大会も決勝まで勝ち上がりました。4回を終えて6点差をつけられながらも2点を取り返し、最終回に4点差を追いつき延長戦へ持ち込みました。延長10回に1点を奪われるとその裏に取り返し、12回に4点を奪われると、その裏に3点を取り返しました。二連覇は果たせませんでしたが、これからも最後まであきらめないねばりの野球を大事に、多くの皆様から応援していただける野球部を目ざしていきたいと思います。

（軟式野球部　顧問）

陸上部

二〇一八年六月三日（日）にShonan BMWスタジアム平塚において、全国定時制通信制陸上競技大会神奈川県予選が行われました。本校から4名の選手が出場しました。日頃から限られた時間の中で基礎練習を大切にし、練習に取り組んできた結果が出たと思います。4名全員が入賞し、全国大会出場を成し遂げました。

2年B組　久保田駿也
男子5000m3位
男子　800m8位
1年A組　齋藤　楓
男子　800m2位
1年A組　阿部　ルカ
女子100mハードル優勝
女子100m　6位
1年A組　川満アレイヤ
女子100mハードル2位
女子　走り高跳び2位

速報！

二〇一九年六月二日（土）Shonan BMWスタジアム平塚において全国定時制通信制陸上競技大会神奈川県予選が行われ、1年B組　都丸有吾が男子100m優勝、男子200m2位で全国大会出場、さらに、神奈川県チームの代表として男子4×100mリレーにも出場します。

（陸上部顧問　大石淳史）

バレーボール部

定時制バレーボール部は平成25年に再結成されました。毎日一生懸命頑張ってきた結果、平成26年に男子バレー部が全国大会に初出場し「たちてい男子バレー部」として初めて全国大会のコートに立つことができました。平成28・29年と2年連続で全国3位になり、30年度は初のファイナルコートに立ち、全国準優勝という快挙を成し遂げました。令和元年となる今年は6年連続出場を決め、日本一を目指して頑張っています。女子は30年度に32年ぶりとなる県大会優勝を決めて、32年ぶりの全国大会出場を果たしました。予選は勝ち抜いたものの、決勝トーナメントでは1回戦敗退で悔しい涙を流しました。あれから1年、毎日練習をして2年連続優勝、2年連続5回目の出場です。昨年の悔しさをバネに自分たちがやってきたことをしっかりと表現できるように頑張ります。

（バレーボール部
顧問・松本　博臣
島貫　敬太）

卓球部

2年連続の全国大会出場

平成30年5月27日（日）、6月10日（日）に横浜総合高校で全国定時制通信制大会・神奈川県予選会男子・女子が行なわれました。男子はシングルス予選・学校対抗の部に出場しましたが、健闘及ばず、敗退しました。小山侑希乃さん（3年生）は予選リーグを1位で通過し、決勝リーグ4位で2年連続全国大会出場を果たしました。同年8月7日（火）から駒沢オリンピック公園室内競技場で行なわれた全国大会では惜しくも2回戦で敗退しました。また、令和元年度の県大会で3位に入賞し夏の全国大会への出場が決定しました。

（卓球部　顧問）

バドミントン部

～上位進出を目指して～

令和元年6月1日（土）・6月8日（土）の2日間にわたり、全国定時制・通信制バドミントン大会神奈川県予選会が行われました。

今年度は2名の選手が出場し、2名とも2連勝。個人戦ベスト8進出となりました。

昨年度、団体戦全国大会優勝メンバーもいるので今年度も昨年度同様の結果と内容ある試合を経験できたらと考えています。

6年連続全国大会出場が確定したので、夏の本番に向けて練習に精進したいと思います。

4年A組　篠島奈々実
（全国大会初出場）
4年B組　桜澤杏菜
（全国大会4年連続出場、昨年度、全国大会団体戦優勝メンバー）

（バドミントン部　顧問
平塚　誠二）

同期会・クラス会

二十一期　３年４組

一九六九年3月に卒業して丁度50年後の今年、二〇一九年六月二日に橘高校21期3年4組のクラス会を向河原の「宝珍楼」に於いて開催しました。去ること丁度一年前、クラスメートの旧友より電話で「次のクラス会幹事が事情によりできなくなった、代わりに開催してくれないか」と告げられました。引受けるにあたり当面の雑用を片付けてからと、一年待って貰いました。一年間つらつら考えていた事は

①個人情報に厳しい時代にどの様に連絡を取ろうか？

②前回行なった25年前の住所録がどこまで通用するか？（事実、宛所居ませんと15枚の葉書が返ってきた）

③はたまたクラス会に出席したい人などいるのだろうか？

一年間という時間があるからこそ思いは逡巡してしまう。ＮＨＫのチコちゃんではないが「人間はド～シテ、クラス会をやるの？」…

当日が来て、12名の参加で無事開催出来ました。再会を果たしてみれば私の不安など吹き飛び、卒業後の報告を聞いたり、会は楽しく和やかに盛り上がりました。卒業の時点ではお互いの進路も知らないままの別れ、再会で『素敵な大人』ぶりに感動し、また古稀に会いたいと口々に言うほど楽しい2時間が過ぎました。

クラス会の前日、私は小学生の孫の運動会の応援で地方都市へ行ってきました。城跡の高台の小学校で小さな命の躍動を見て、小さな命の愛おしさにこみ上げるものを禁じ得ませんでした。

翌日のクラス会、ここは老い行く命ではありますが、命が脈々と繋がっていること実感して私の中でもうチコちゃんの答は「いらないな」と思えました。

今回のクラス会は、命の無事を確かめあう感動の場でした。

（高校21期　和田康子）

二十八期　同窓会

二〇一八年三月三十日、28期の同窓会は、卒業後初めて、ミューザ川崎シンホニーホールにある市民交流室で、盛大に行われました。

84人の同窓生と2人の先生が参加。最初に野球部の主将だった7組の幹事・中島健志君の挨拶があり、「二〇一二年、女子バレーボール部が国体で優勝、ラゾーナ川崎での報告会が行われたのをきっかけに、市役所勤務の中島、北沢、司会の鈴木が飲み会をした事から、同窓会をしようという事になったが5年越しの計画が実り、皆さんの顔をみて、やってよかった」と話しました。

実は、二〇一七年の夏から、具体的な構想案が練られ、実際に動き始めたのは、二〇一八年の1月からでした。

42年振りの再会を目指し、平成元年の住所録を見ながら、電話するも、各クラス、なかなか繋がらず居所探しは、6人の幹事は皆、苦労しました。

結果、86人の方に出席してもらうことになりましたが、年度末で、残念ながら出席出来ない方も大勢いました。

“KANREKIパーティー”と題し、お越し頂いた6組の田中良也先生、8組の石井邦子先生に、花束の贈呈を行い、田中先生から「まだこれから、たっぷり時間がある。どんな人生を迎えるか楽しみだね」というお言葉と、石井先生から、「第2の人生、今まで人のペースで使われているので、これからは、自分のペースで楽しく生きてください」と激励の言葉を頂きました。その後、ステージに設置されたスクリーンに卒業写真を映し、クラスごとに写真撮影を行うと、これが自分だと指をさし、過去、現在を見比べる場面もありました。

乾杯は、セーラー服姿で登場した、7組幹事五十嵐敬二君。真っ赤なボトルの赤いスパークリングワインで、還暦を祝いました。

お料理は、厳選したフランス料理が並び、飲み物は、飲食業界での手腕をいかして　3組幹事・木虎正樹君がビール、ウイスキー、焼酎、ワイン、ソフトドリンクと、安くておいしいものを用意してくれました。

中盤、ステージには、後輩で50期の永瀬晋君、62期の文梨衛君が、ギターとサックスで校歌を演奏、合わせて、歌えた人も、忘れた人も・・・。

後輩2人のジャズの演奏の中、会話は盛り上がる一方、還暦といえば、赤いちゃんちゃんこ。着るのに60歳は若い、と着用を嫌がる女子、続出。

締めのご挨拶は、6組の幹事で麻生区区長を務めていた北沢仁美さん。「グラフィックデザイナーをしている4組幹事の島田ゆり子さんには、住所の印刷、花の飾り付などしてもらい、フリーアナウンサーで3組幹事の鈴木よしえさんには、司会とステージの風船の飾り付け、撮った写真をステージのスクリーンに飛ばすホトシュシュ、ビデオカメラマンの手配と奮闘してもらった。2人の先生には、若さの秘訣を教わり、これからやりたいことを中心にして生きていきたい」と締めてくれました。

この同窓会を機に、その後、クラス会が行われるなど、28期は、新たな交流が生まれています。

（高校28期　鈴木よしえ）

八期　文ちゃん会

去る5月19日、正午ごろ第8期生文ちゃん会の同級会が武蔵小杉駅近くの居酒屋で、幹事岐部一夫さんと坂本晁さんのお世話で男性7名、女性3名で昼食会を持ちました。

当時のおもかげが残っていて名前のわかる人など、懐かしく思いました。

食事の後、カラオケに場所を移し楽しく過ごしました。来年も5月第3日曜日横浜での再会を約束し、散会しました。

（高校8期　二瓶　脩）

同窓生の近況

高校十七期　田野村順子さん

高校時代はバスケット部で活躍され、卒業後西生田小学校など市内学校の事務職員をされました。

その後教員だった現在のご主人と結婚、相模原市に住んでおられます。

平成10年から法務省管轄の保護司として地域担当されその他青少年相談員など地域のために活動されています。

保護司は法務省から委嘱された非常勤の国家公務員で犯罪や非行した人の立ち直りや地域の犯罪予防に取り組んでいる活動を行う大切な役割をになっているそうです。

苦労とは思ったことはないが全く知らない世界を知ったことはいい経験になっているそうです。

覚醒剤違反や万引きなど窃盗が多く少年から老人まで引き受け、気苦労の多い時があるそうです。田野村さんの自宅での面談日を平気で欠席する方が多く順調にいって3ヶ月から4ヶ月、人によっては半年から二年フォローしなければならない人もいるそうです。

無事保護観察期間が終了した時は安堵と嬉しさがこみ上げてくるそうです。「なかなか、なり手が少なく大変ですがこれからも社会の為に頑張りたい」と抱負を述べられていました。

橘高等学校時代の運動で養った体力や精神力が役立っているようでまだまだ元気な様子でした。バスケット部の同窓会も年1回開いているそうです。今後の活躍をお祈りいたします。

（池上裕光記）

高校十六期　千葉京子さん　個展開く

高校16期生の千葉京子（旧姓　武井）さんが、6年ぶりに令和元年5月6日から12日まで、銀座六丁目の「ギャラリー暁」で開催されました。

前回は平成25年3月31日から1週間、京橋で「段ボール」を題材にした個展でしたが、今回は「紙」を題材にした作品を作って数点展示しました。本人は色々と模索して作りあげたいといっておりました。

会場には同級生の神野定さん、高校13期の山崎克彦さんも見学に来られました。

また、油絵を描いている70歳前後の男性も見学にこられて千葉さんに質問されていました。

（長谷川幸夫記）

原稿募集！

同期会・クラス会・部活ＯＢ会・ＯＧ会などを開催した際は、是非同窓会まで原稿・お写真をご提供ください。

懐かしい級友、部活仲間、仲良しグループ、先輩後輩、少人数、大人数、なんでも結構です。

会報は卒業生全員に送付いたしますので、ご覧になった方たちから思わぬ連絡が飛び込むことがあるかも。

また、同期会開催の事前呼びかけ等もご連絡ください。

※幹事様には各クラス等の住所録を事務局までお届けください。名簿・住所は、同窓会からのお知らせ以外には使用しません。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ご連絡は同窓会事務局まで。

info@tachibana-hs.net

橘高校を去るにあたって

母校　元教諭　松原　成行　先生

平成31年３月31日付けで36年間勤務した橘高校を定年退職いたしました。

昭和58年４月から23年間、定時制には平成18年４月から13年間は全日制に在職した。

橘高校という同じ屋根の下で生涯在籍した最後の一教員でした（現在は異動のルールがあり、同一校に何十年も勤務することはありません）。

本校に着任した時から同窓会の方々にはいろいろとお世話になりました。２代目桑原会長、３代目長谷川会長、そして４代目鈴木会長と親しくさせていただきましたが、いつも母校のためにと役員の方々と熱心に活動されていました。

近年「同窓会設立60周年」記念祝賀会が行われ、参加した多くの方が祝辞の中で同窓会への思いを感謝を込めて述べられていたことが強く印象に残っています。

私は本校での周年行事も50周年、60周年、70周年と３回関わったのですが、とりわけ平成14年春に盛大に行った創立60周年・新校舎落成記念式典が特に印象に残っています。

卒業生を全日制で４回、定時制で３回送り出したのですが、全日制に在籍した終わりのころから定時制の在職中にかけて、かつての教え子の子が本校に入学し、保護者懇談会等で親として出席した教え子と話をすることが非常に多くなりました。

生徒と生活をしているとあまり年齢のことは感じないのですが、このような時はさすがに自分も年を重ねたことを感じずにはいられませんでした。

※同窓会事務局の若手メンバーは、全日制・定時制それぞれの卒業生で構成されています。松原先生にはその全員がご指導いただいていました。

橘で７回の卒業生を出した松原先生に、改めて感謝申し上げますありがとうございました。（Ａ）

はがき・名刺・伝票・封筒
リーフレット・パンフレット etc.

Printing Office FREE フリー
株式会社
川崎市中原区中丸子556－14
TEL 044(948)8505
FAX 044(411)8134

先生はいま⑧

丸山一郎先生

先日、私が橘高校に赴任した当時、部活動を通じて出会った部員たちとの会に参加しました。彼女たちの子ども達も一緒でした。高校時代の思い出話に始まり、その後のそれぞれの人生についての語り合いに発展しました。

もちろん楽しいばかりではなく、重い病気を体験したこと、大切な伴侶を失ったことなども聞き、さまざまな困難を越えて今があることを実感しました。

そんな話の中で「先生、あの頃の学校ってどんな学校だったの？」と問われました。私は「そうだね。先生たちがそれぞれ考えることを言いながらどうしていこうって決めていく、みたいな学校だったと思ってるよ。」と答えました。

私は一九九〇年４月に橘高校に赴任してきましたが、特に新鮮に感じたことは職員会議での話し合いが活発だったことや、全職員がグループに別れ、様々な視点から学校のあり方について研究会をもってもいたことでした。

今でも、橘高校の卒業式のプログラムでは「卒業証書授与」ではなく、「卒業証書授受」としています。「授与」＝授ける・与えるでは、その主語は「学校」ということではないか、卒業式の「主体は生徒」なのだから、それにそった表現にできないものか。職員会議でそんな話し合いもしながら、やっと落ち着いたのが「授受」という言葉でした。

私は二〇〇六年から二〇一三年まで高津高校定時制に勤務した後、再び橘高で勤務することとなりましたが、そのころの職員会議でも、さまざまな提案のベースに「生徒を主体として」という考え方が置かれていました。

実は、二〇〇〇年代になると学校教育法の「改正」などがあり、学校の運営が「上意下達」で行われる傾向が強まっていきました。

二〇一四年には私たちが求めた日本史の教科書の採択が認められないということまでおきました。しかし、学校というものは生徒のためにあり、教育は生徒が主体であるということは変えられることではないように思います。

私は、橘高校から離れて２年目になりますが、今は非常勤講師として地元の中学校で勤務してます。

昨年勤務した学校には橘高校の卒業生が教員として勤務していました。また、小学生の孫のサッカーチームのコーチの一人も橘の卒業生でした。

卒業生のみなさんが社会のさまざまな場を担って活躍されていることを知り、うれしく思ってます。

（※丸山先生からご寄稿をいただきました。）

山崎輝美先生

平成31年山崎輝美先生は私立高校で非常勤講師、臨港中学で臨任を経験した後にわが校に保健体育科教諭として一九八七年四月に着任しました。

着任した時、剣道五段でしたが、着実に昇段して現在では八段の腕前です。

八段以上の段位はないので最高位となります。私にはその凄さが分からないので尋ねたところ、七段になってから十年以上の経験を積み、46歳以上になって受審資格ができ、先生が昇段した年の受審者は一千人、合格者は四人でした。

着任当時、剣道部はあったものの実績はありませんでした。先生が指導するようになるとそのうち部の保護者会ができ、しばらくすると卒業生がOB会をつくり、部の支援をするようになりました。おかげで県外遠征の練習試合も組めるようになり、段々と強くなり関東大会でも全国大会でも入賞するようになっていきました。

中でも特筆に値するのは、高校剣道界の憧れの的である玉竜旗大会で優勝したことです。大会参加五三〇チームの頂点に立ったのです。剣道は九州勢が強く、当時の新聞は“玉竜旗（女子）が初めて関門海峡を渡った”と報じました。公立高校の快挙として一層褒めたたえられました。

玉竜旗大会70年近い歴史の中で関門海峡を渡ったのは二〇〇二年の橘高校と二〇〇八年の西大寺高校（岡山）の二回だけだそうです。

苦労したのは男女それぞれ25～30名近くいる部員の中から五名の選手を選ばねばならなかったことです。部員にも保護者にも納得できる客観性がなければならないので、難しい選択をしなければなりませんでした。

数多くの実績を残し、断腸の思いで二〇〇九年四月総合科学へ異動となりました。その後商業高校の教頭、川崎高校の副校長を経て昨年度から総合科学の副校長です。今年度で定年退職となります。

（澤野　千恵子記）

同窓会新顧問先生紹介

全日制　川渕　佐知子先生

東京都板橋区出身。豊島岡女子学園高校から大東文化大学日本文学科卒業。書家兼教員として、私学の中高一貫校にて芸術科専任教諭として長く勤務されました。

その後、川崎市立川崎高校、幸高校を経て、この４月から橘高校に赴任されました。

書道部の顧問も担当されています。

定時制　田上　稔　先生

小中高と川崎市出身。横浜国立大学教育学部卒業。西中原中学校勤務の後、市立川崎、商業、総合科学の全定課程を歴任され平成31年４月再任用にて着任されました。

ご家庭では結婚39年目の奥様、ご長女、ご長男と満一歳のお孫さんお一人。

趣味はゴルフにギターと多彩。

二〇一九年度代議員会報告

令和元年６月29日（土）橘高校大会議室において代議員会が開催され平成30年度事業報告並びに決算報告、二〇一九年度事業計画案並びに予算案等審議し承認された。また同窓会基金についても報告がなされた。２年に一度の役員改選期にあたり、鈴木会長が退任。牧野会長ほか新役員が選任された。承認された内容は別記のとおり。

平成30年度事業報告

（特に表記のない場合は平成30年）

一、渉外活動

(1)入学式卒業式への参列

・入学式
4月6日（全定）
鈴木会長、牧野、池上副会長、長谷川名誉会長が出席

・卒業式
3月2日（全定）
鈴木会長、牧野、池上副会長、長谷川名誉会長が出席。

PTA総会への出席
5月19日
鈴木会長、牧野・池上副会長が出席。

・文化祭への参加
・橘花祭（全）
9月29・30日
「同窓会の活動の紹介」活動紹介、会報・アルバムの展示。来場者310名。

・橘定祭（定）
10月27日
「同窓会の活動と卒業アルバムの展示」
同窓会報、卒業アルバム展示。来場者50名。

二、会議の開催

・役員会（3回）
・4月21日、9月1日、12月1日活動及び事業内容報告。
・4月14日決算・監査（三役・会計監査・事務局）
・代議員会6月30日母校会議室で開催。33名が出席。平成29年度事業報告、決算報告及び監査報告、30年度事業計画及び予算案を提案し承認された。

引き続き懇親会が宝珍樓において開催され、来賓役員等合わせ41名が出席した。

・事務局会議（6回）
4月21日、6月16日・23日、9月1日・29日・30日に開催。
さらに、編集会議時（31年1月26日、2月23日、3月30日）にも開催。

三、広報活動

・ホームページ
WEBサイト「同窓会ホームページ」随時更新
・会報18号の発行（編集会議）31年1月26日、2月23日、3月30日開催

四、母校後援（賛助・祝い金等）

・文化祭（橘花祭・橘定祭）への後援
9月29・30日（全）、10月27日（定）開催
・部活動への後援
全日制運動部＝陸上、バレーボール、ソフトテニス各部
全日制文化部＝吹奏楽部
定時制＝陸上、卓球、バレーボール、バドミントン、野球各部

五、部活動OB・OG会と連携

野球・バレーボールの試合、応援等を通じて連携。

六、その他

二〇一九年度事業計画（平成31年度・令和元年度）

一、渉外活動

・入学式卒業式への参列
・PTA総会（役員歓送迎会）への出席
・文化祭（全日制9月、定時制10月）への参加
「同窓会コーナー」で資料等を展示

二、会議の開催

・役員会
・代議員会（6月）
懇親会の開催
・事務局会議

三、広報活動

・ホームページ随時更新
・会報『たちばな』18号令和元年8月下旬発行予定。

四、母校の後援

・文化祭（橘花祭・橘定祭）への後援
・部活動への後援
・その他

五、部活動OB・OG会と連携

六、その他

役員改選

鈴木正則会長が退任し、牧野重夫副会長が新たに会長に選任された。

同窓会役員体制（令和元年度・2年度）

会長
牧野　重夫（18期）

副会長
池上　裕光（18期）
＝事務局長兼務

会計
西川　敏夫（30期）
天沼　寛文（53期）
＝事務局次長兼務

会計監査
寺西　英夫（28期）
荒井　久雄（30期）

事務局
◎池上　裕光（18期）
○天沼　寛文（53期）
宍戸　均（21期）
崎川　弥生（29期）
三崎　純平（59期）
南端　純（60期）
国分　基展（60期）
木村　祐（65期）
井上　晶平（68期）
◎事務局長、○事務局次長

特別役員

名誉会長
長谷川幸夫（11期）
鈴木　正則（11期）

名誉顧問（母校学校長）
吉田　宏

特別顧問（歴代学校長）
北村　清市（第12代）
渡邊　浩司（第13代）
五島三津雄（第15代）
新保　利幸（第16代）
松本　芳弘（第17代）
小平　智足（第18代）

相談役
安田　仁（2期）
小林　昌雄（3期）
江添　健一（3期）
斉藤　和夫（7期）
井浦輝久雄（9期）
北谷　瑞穂（13期）
羽田野義博（16期）
澤野千恵子（17期）
髙橋　留雄（19期）
吉垣　次男（34期）

顧問（母校教員）
永村　弘子（全日制）
川渕佐知子（全日制）
長谷川剛士（全日制）
田上　稔（定時制）
中島　克己（定時制）
高田　忍（定時制）

平成30年度　別途積立金 収支決算報告書

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

川崎市立橘高等学校同窓会

単位:円

項目	収入	支出	備考
繰越金	2,151,708	0	平成29年度より繰越
一般会計より繰入金	100,000	0	
預金利息	93	0	
合計	2,251,801	0	

収入合計　¥2,251,801　－　支出合計　¥0　＝　次年度繰越金　¥2,251,801

◆別途積立金の内容

1、積立金　1,000,000円
2、周年行事積立金　1,200,000円　（平成17年度より周年行事準備目的で積立）
3、預金利息　51,801円

※繰越内訳

三井住友信託銀行　定期預金　1,000,000円
三井住友信託銀行　普通預金　1,251,801円

平成31年4月15日

上記のとおりご報告申し上げます。　監査の結果相違ないことをご報告いたします。

会　長　鈴木　正則　　会計監査　吉垣　次男

副会長　池上　裕光　　会計監査　寺西　英夫

会　計　天沼　寛文

会　計　井上　晶平

平成30年度　収支決算報告

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

川崎市立橘高等学校同窓会

【収入の部】　単位:円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	1,598,744	1,598,744	0	前年度繰越金
入会金	1,272,000	1,272,000	0	卒業生318名×4,000円
	1,096,000	1,096,000	0	274名
	176,000	176,000	0	44名
年会費	40,000	84,000	44,000	年会費・賛助寄付金
代議員会費	100,000	126,000	26,000	
会報広告費	0	0	0	会報広告料
雑収入	150	6	△ 144	預金利息
合計	3,010,894	3,080,750	69,856	

【支出の部】　単位:円

項目	予算額	決算額	予算残額	備考
事務局費	320,000	142,204	177,796	
事務渉外費	300,000	136,040	163,960	橘花祭事務費・慶弔費・事務用品
通信交通費	20,000	6,164	13,836	
会議費	500,000	349,878	150,122	
役員会議費	100,000	14,535	85,465	資料印刷費、資料郵送費
代議員会費	400,000	335,343	64,657	案内諸経費、懇親会費
事業費	550,000	520,000	30,000	
会報発行費	50,000	0	50,000	会報発行諸費
母校後援費	500,000	520,000	△ 20,000	橘花祭・文化祭賛助・部活賛助
積立金	100,000	100,000	0	
予備費	1,540,894	0	1,540,894	
合計	3,010,894	1,112,082	1,898,812	

収入合計　¥3,080,750　－　支出合計　¥1,112,082　＝　次年度繰越金　¥1,968,668

※繰越残高内訳　①横浜銀行　¥1,103,538　②みずほ銀行　¥57,884　③郵便局　¥1,142,520　④川崎信用金庫¥720,598　⑤現金　¥188,128　①～⑤計 ¥3,212,668

◎繰越残高には、次年度入会金預かり金1,244,000円を含む。

平成31年4月15日

上記のとおりご報告申し上げます。　監査の結果相違ないことをご報告いたします。

会　長　鈴木　正則　　会計監査　吉垣　次男

副会長　池上　裕光　　会計監査　寺西　英夫

会　計　天沼　寛文

会　計　井上　晶平

平成31年度　収支予算

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

川崎市立橘高等学校同窓会

【収入の部】　（単位:円）

項目	平成30年度予算額	平成31年度予算額	比較増減	備考
繰越金	1,598,744	1,968,668	369,924	前年度繰越金
入会金	1,272,000	1,244,000	△ 28,000	卒業生311名×4,000円
全日制	1,096,000	1,092,000	△ 4,000	273名（前年比 1名減）
定時制	176,000	152,000	△ 24,000	38名（前年比 6人減）
年会費	40,000	1,000,000	960,000	年会費・賛助寄付金
代議員会費	100,000	100,000	0	
会報広告費	－	30,000	30,000	会報広告料
雑収入	150	100	△ 50	預金利息
合 計	3,010,894	4,342,768	1,331,874	

【支出の部】　（単位:円）

項目	平成30年度予算額	平成31年度予算額	比較増減	備考
事務局費	320,000	320,000	0	
事務渉外費	300,000	300,000	0	ウェブサイト運営、他
通信交通費	20,000	20,000	0	
会議費	500,000	450,000	△ 50,000	
役員会議費	100,000	50,000	△ 50,000	
代議員会費	400,000	400,000	0	
事業費	550,000	2,000,000	1,450,000	
会報発行費	50,000	1,500,000	1,450,000	会報18号発行準備
母校後援費	500,000	500,000	0	文化祭・部活動等賛助
積立金	100,000	100,000	0	周年行事積立
予備費	1,540,894	1,472,768	△ 68,126	
合 計	3,010,894	4,342,768	1,331,874	

平成31年度　別途積立金　収支予算(案)

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

川崎市立橘高等学校同窓会

（単位:円）

項 目	収 入	支 出	備 考
平成30年度繰越金	2,251,801	0	
一般会計より繰入金	100,000	0	
預金利息	100	0	
合計	2,351,901	0	

同窓会橘基金

高校七期・水嶋康雅氏の浄財により平成二十年一月一日に創設された「同窓会橘基金」。平成30年度の事業報告、会計報告は次のとおりです。

平成30年度 事業報告

○奨学金給付　四名
　全日制二名
　定時制二名
○記念品贈呈
・スピーチコンテスト用楯・徽章文字

平成30年度 会計報告

・収入　三、〇八四、一四六円

【収入内訳】

繰越金　三、〇五八、九七三円
寄付金　二五、〇〇〇円
利子　一七三円

・支出　二〇二、〇五二円

【支出内訳】

奨学金給付　二〇二、〇五二円
記念品費　五、二三九円
雑費　四三二円
次年度繰越金　二、八七六、四三三円

基金協力者御芳名

（敬称略・順不同）

山崎勉、小平智足、百木清治、西川洋志夫、武笠俊治、森猛、山田信夫、鶴岡睦、栃堀申二、斉藤和子、斉藤和夫、高橋玲子、垂水美代子、森節子、関口勇一、小野寺節子、川崎セツ、近藤誠、鈴木正則、関山泰司、市川幸一、高橋みどり、原功、石田邦子、鳥養弘一、香山正一、新木士郎、宮崎隆史、佐藤正幸、川本邦子、柳田周一、佐久間邦子、鏑木茂哉、柳東春、牧野重夫、池上裕光、大関春江、今井芳枝、植松正人、原慶鷹、小林いく子、鈴木雅之、入井洋一、松原重郎、大野泰孝、加藤正明、吉田慶吉、新井良恵、中小路英之、天沼寛文、高野美沙子、横田大輔、荒井良恵、田中けい子、岸毅、佐藤由貴子。（～平成31年3月迄）

※本紙に「橘基金」ご協力のお願い（振込用紙）を同封いたしました。皆様のご協力をお願いします。

年会費賛助金

会費を納入いただいた会員諸氏に敬意を表し　ここに芳名を記載いたします　（敬称略）

年会費納入会員御芳名
自　平成29年4月1日
至　平成31年3月31日

旧中1期・篠田希彦。**旧中2期**・手塚七五郎、竹内恒夫。**高校2期**・安田仁。**高校3期**・古尾谷崇、田島和夫、小笠原浩、小宮忠行、松原重郎。**高校4期**・稲生行秀、石井義孝、西川洋志夫、武笠敏治、青木弘之、森猛。**高校5期**・山田信夫、青木広茂、鶴岡睦、吉澤明夫、内藤保。**高校6期**・秋山房利、成川晃、各務潔、枅堀申二、佐野薫。**高校7期**・水嶋康雅、高橋伸行、桑原敏幸、松浦達、古沢紀美子、斉藤和子、大平勝子、濱田正一、斉藤和夫。**高校8期**・福島穣、二瓶脩、羽廣繁雄、藤本和男、岩切宏悦、杉野至寛、岸毅、松本久子。**高校9期**・井浦輝久雄、高橋玲子。**高校10期**・横井修司、伊藤久男、森節子、牧田国雄、北村俊明、藤代尚一、水野弘、関口勇一、後藤友子、鈴木征雄、小野寺節子、清宮明、村木祐次郎、吉田慶吉、斎藤晃、川崎セツ、白井寅満、中山喜三郎。**高校11期**・阿部昌裕、引地雅、溝江光運、池上潔、縣東洋、長谷川幸夫、関山泰司、飯島キノ、高橋順子、竹内洋子、古志武志、古志よし子、新井紀元、近藤誠、鈴木正則、高氏紀敏。**高校12期**・榎本義昭、片山茂、木村美恵子。**高校13期**・鈴木幹雄、市川幸一、中村徹夫、原功、武田三千代、石田邦子、今井信幸、土屋美明、笠井英彦。**高校14期**・斉藤克也、香山正一、小澤昭弘、加藤五朗、山田賢、新木士郎、秋葉洋子、小谷野嘉文、早津皎右。**高校15期**・妙摩昌司。**高校16期**・神野定、小澤京子、栗原一夫、宮崎隆史、岡村節子、鏑木正史、瀧本臣子、古川肇、中田弘義。**高校17期**・有川糸子、余合正美、山田正子、植木峰雄、川本邦子、森直光、高瀬秀弘、金子美知子、梅村郁子、柳田周一、澤野千恵子、吉野和子、佐藤真由美、佐藤善郎。**高校18期**・池田晃、池上裕光、鏑木茂哉、乙訓博道、福地一、柳東春、安重実、笠原房男、田中けい子、田代敏雄、市川典男、指田ちづ子。**高校19期**・大関春江、佐々木次郎、山田由雄、今井芳枝、瀧口昇、大橋敬義、飯田日出男、杉野幸治。**高校20期**・木原利道、鈴木精子、佐藤令子、植松正人、椎名義則。**高校21期**・福原勝、小林いく子、比嘉佳光、久保直己、松沼晴一、斉藤富美子、石澤良一、金田美幸、長嶋建次。**高校22期**・小林透、森茂、星野春夫、黒川雅春。**高校23期**・松本安弘、**高校24期**・樋口文子、亘理茂、鈴木雅之、新井のり子、山田晴央。**高校25期**・中山安子、入井洋一、山本順子。**高校26期**・赤塚信子、高橋孝郎、芳賀けい子、小山清征、地引信太郎。**高校27期**・大塚幸枝、脇菜穂子、渡辺正子。**高校28期**・伊藤秀雄、大野泰孝。**高校29期**・飯田三佐子、浦野俊一、三ッ橋富士夫。**高校31期**・加藤正明。**高校32期**・青木夫美代、近迫佳代子。**高校34期**・垂水美代子、新井良恵、吉垣次男。**高校35期**・野口孝、大野邦彦。**高校36期**・吉田佳子。**高校37期**・中小路英之。**高校41期**・佐藤光男。**高校44期**・吉田満喜子。**高校50期**・清水弥生。**高校52期**・米川恭生。**高校53期**・天沼寛文。**高校54期**・松崎拓也。**高校56期**・齋藤惠。**高校58期**・高野美沙子。**高校61期**・相澤光。**高校65期**・猪谷直矢、カラザーズブランドン彗太。**高校66期**・横田大輔。**高校67期**・永谷茜、カラザーズ圭菜ヴィヴィアン。**高校69期**・大塚正博、宮川誠、松田彩花、山岸菜由子。

芳名不明（川越市から入金）

※今回記載の方以外に、前回以前に複数年分を一括納入されている方が複数おられます。

賛助寄付金・複数年度会費納入者御芳名

特別顧問	松本	芳弘様
同	小平	智足様
客員	神野二三代様	
同	山崎	輝美様
同	宮津	健一様
同	加藤	正男様
同	福田	松江様
同	田辺	絹代様
正会員		
旧中1期	篠田	希彦様
高校3期	田島	和夫様
高校4期	西川洋志夫様	
高校4期	稲生	行秀様
高校6期	秋山	房利様
高校7期	高橋	伸行様
高校7期	桑原	敏幸様
高校7期	大平	勝子様
高校8期	福島	穣様
高校8期	杉野	至寛様
高校8期	岸	毅様
高校10期	伊藤	久男様
高校10期	牧田	国雄様
高校10期	北村	俊明様
高校10期	清宮	明様
高校10期	村木祐次郎様	
高校10期	吉田	慶吉様
高校10期	川崎	セツ様
高校10期	中山喜三郎様	
高校11期	鈴木	正則様
高校12期	榎本	義昭様
高校13期	原	功様
高校14期	香山	正一様
高校14期	加藤	五朗様
高校14期	小谷野嘉文様	
高校16期	瀧本	臣子様
高校16期	中田	弘義様
高校17期	佐藤真由美様	
高校17期	柳田	周一様
高校17期	佐藤	善郎様
高校18期	池田	晃様
高校18期	鏑木	茂哉様
高校18期	柳	東春様
高校19期	大関	春江様
高校19期	今井	芳枝様
高校19期	大橋	敬義様
高校20期	佐藤	令子様
高校20期	木原	利道様
高校21期	比嘉	佳光様
高校21期	久保	直己様
高校21期	金田	美幸様
高校22期	黒川	雅春様
高校24期	山田	晴央様
高校25期	入井	洋一様
高校26期	芳賀けい子様	
高校26期	地引信太郎様	
高校29期	飯田三佐子様	
高校31期	加藤	正明様
高校34期	新井	良恵様
高校34期	吉垣	次男様
高校50期	清水	弥生様
高校52期	米川	恭生様
高校56期	齋藤	惠様
高校58期	高野美沙子様	
高校61期	相澤	光様
高校65期	猪谷	直矢様
高校66期	横田	大輔様

会費納入のお願い

本会、橘高校同窓会は、会員の皆様よりお預かりする会費により運営されています。この会費を基に、同窓会の基幹事業である「母校への後援」を行っています。

また、同窓会報「たちばな」を発行できますのも、ひとえに会員諸氏の会費納入のお陰です。重ねて御礼申し上げます。

橘の卒業生も優に2万人を超える大所帯となりました。さらに、賛助を行う母校の部活動、文化活動等も増え、うれしい悲鳴ではありますが支出も増加している現状です。

何卒ご理解を賜りましてより多くの会員の皆様が会費を納入いただきますようお願い申し上げます。

会費は2年分で4千円となります。

今回、皆様にはこの会報に郵便局の「払込用紙」を同封させていただきました。

母校後援の礎となる賛助会費納入を衷心よりお願い申し上げます。

BOOK / CD・DVD / STATIONERY / GAME / TEXTBOOK

多摩川ノート
土手の草花

中本賢の
「川と遊ぼう」
第1弾！

舞台は川沿いの土手、河原、河川敷。
「雑草とひとくくりに呼ばれてしまう植物たちがこの本の主役です。
ありふれた風景のなかにこんな世界が！
俳優・中本賢が綴る「土手の草番」の魅力
思い入れタップリ込めてお届けします。

定価（本体 2,500 円＋税）
ISBN 978-4-904733-04-2
2016 年 4 月発行

株式会社　北野書店
http://kitanobook.co.jp
本店（鹿島田駅前）
神奈川県川崎市幸区新塚越 201 ルリエ新川崎 2F
TEL.044-276-9100　FAX.044-276-9101
KITANO

短信

「ふるさと納税」は母校　橘高校へ！

「ふるさと納税」は、ふるさとに貢献や応援したいという納税者の想いを実現するため、応援したい自治体に対して寄附を行った場合に個人住民税及び所得税の一定額を軽減する制度です。

川崎市では、今年度から「学校ふるさと応援寄附金」を新たに追加し、学校を指定して寄付を行うことができるようになりました。

寄附金は、指定された学校における課題の解決や独自の取組をより進めるために活用されます。

会員諸氏には、是非、母校「橘高校」にふるさと納税をお願いします。（市内在住の方でも「ふるさと納税」を川崎市に申し込むことが出来ます。）

お問い合わせ
川崎市教育委員会事務局庶務課
TEL 044 二〇〇-三三六一

代議員懇親会開催される

二〇一九年度代議員会の後、場所を向河原駅前の宝珍樓にて懇親会がひらかれました。

代議員を初め現学校の先生方、歴代校長、ＰＴＡ役員、会員の市議会議員、来賓の方々を含め42名が参加しました。

鈴木会長より退任の挨拶と牧野新会長の紹介があり吉田校長の挨拶に続き五島元校長の乾杯により始まりました。

年一回の再会を楽しみにされていた方々との旧交を深めたり思い出ばなしに花が咲きました。

最後に牧野新会長より同窓会活動に一層のご支援ご協力を賜るよう挨拶があり終了しました。

恩師哀悼（ご逝去）

生前のご指導に感謝し、謹んで御芳名を掲載申し上げます。（敬称略）

瀬谷進策、柏原司郎、大場彰吾、福田松江、清水仁、牧孝夫、座間英夫。

編集後記

会報第18号をお届けしました。昨年の母校校長先生、今年の同窓会長それぞれの交代と新しい時代が進んでいます。

橘高校は更に文武両道の面で進化しています。

卒業生の皆様が在校されていた時代は如何がだったでしょうか。

橘高校の3年間は人生において忘れられない時だった方、余り思い出したくない方、記憶が薄れている方それぞれの想いがあり学校への評価も違うとおもいます。

もう一度あの時代の恩師、同級生、部活動の仲間、など思い出し振り返ってください。

今年の秋の母校文化祭には同窓会コーナーも開催しており是非お出かけください。

会報18号編集委員会
委員長　池上　裕光（18期）
編集委員　澤野千恵子（17期）
牧野　重夫（18期）
宍戸　均（21期）
崎川　弥生（29期）
西川　敏夫（30期）
天沼　寛文（53期）
木村　祐（65期）

文化祭ご案内

本年、全日制文化祭「橘花祭」は９月29日に一般公開されます。

また定時制文化祭「橘定まつり」は10月26日（土）催されます。

当日は生徒たちによる模擬店や生徒会や部活動による展示、演奏や演技等多彩なプログラムを予定しています。

また、同窓会ブースも開設いたします。企画展・卒業アルバムの展示もいたします。

多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

会報に対するご意見、同窓会宛てのご要望、転居・住居表示の変更のご連絡は、お手紙・ＦＡＸ、Ｅメールでご連絡下さいますようお願いいたします。お問合せにつきましては、後ほど事務局からお答えいたします。

＊お電話でのお問い合せはご遠慮ください＊

●お問い合せ先●

橘高等学校同窓会事務局宛

①お手紙の場合
〒211-0012　川崎市中原区中丸子５６２

②ファックスの場合　０４４－４２２－７４１２

③メールの場合
info@tachibana-hs.net

橘高校　同窓会　検索

同窓会・クラス会・忘新年会・歓送迎会・総会等は
中国料理　宝珍樓　向河原本店
南武線向河原駅近くに開業して50年。2017年６月に和洋９室、大広間は１８０名様の椅子席で新装開店いたしましたので、母校見学の際は是非お立ち寄り下さい。
ご予算は　コース　3200円～10000円　（税込）
飲み放題　1000円、1300円、1800円（　〃　）
他に中華会席コースもご年配の方にご好評を頂いて居りますし、又、ご利用時間についてもご相談を承ります。
宝珍樓店主　深澤昌孝
川崎市中原区下沼部1767　TEL＆FAX　044-411-4820

田園都市線たまプラーザ駅4分
たまプラーザ
リカーショップ
イズミヤ
高校17期卒
畔田幹雄
同級・同窓生からの連絡が楽しみです
たまプラーザ駅前商店会
〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-10-8
TEL045-902-5910